

・暑熱対策

夏の強い日差しをさえぎる効果のある緑のカーテン&カーペットづくりの推進や、水の気化熱により路面の温度の上昇を抑えて周囲の気温上昇を抑制する打ち水の普及促進を図ります。

また、クールスポットの創出といったハード対策や予防情報の積極的な発信といったソフト対策を実施しており、今後もより効果的な暑さ対策や熱中症対策に関する啓発を行います。



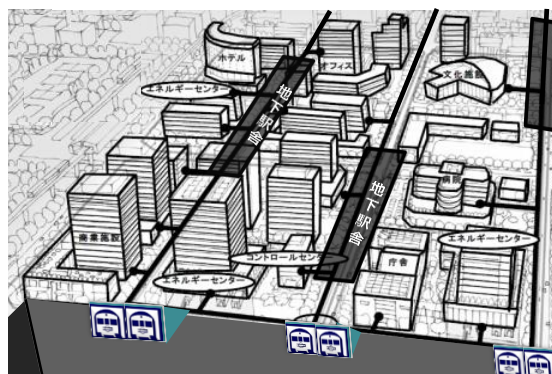
大阪打ち水大作戦 2021

ーエネルギーインフラの拡充によるレジリエンスの強化

避難所や病院などの災害時の拠点になる施設から業務集積地区までの幅広い区分で、自立・分散型電源（コージェネレーションシステムなど）など災害に強いエネルギーシステムの構築に向けた取組みを進めることで、CO₂の排出抑制と防災力向上の両立を図ります。

・エネルギーの面的利用の促進

エネルギーの面的利用については、太陽光発電やコージェネレーション（熱電併給）システム、水素エネルギーをはじめとする分散型電源を導入し、エネルギーの使用形態の異なる施設や建物間など面的な広がりを持ったエリアをネットワーク化し、エネルギー融通・共同利用を行うことで、エネルギー効率の向上、コスト低減と災害時のセキュリティ向上を同時に実現することが可能になります。



地下空間を活用したエネルギー面的利用のイメージ

・電力需給調整力の強化等に向けた V2X の普及促進

地域の脱炭素化とも調和のとれる災害に強い自立・分散型エネルギーシステムの実現に向け、電力需給調整力として蓄電池を有する EV 等と建物や設備との間で充放電することや、災害停電時の電源の確保につながるよう EV 等から放電することができる V2X を普及促進していきます。

令和 3 年度には V2X システムを生野区役所に構築しており、その効果を市民・事業者に普及啓発していくことで、家庭や事務所ビルでの V2X の導入を促進し、電力需給調整力等を強化した新たなエネルギー社会の構築に向け取り組みます。

※V2X（Vehicle to X（Everything））：EV 等の蓄電池を持つ自動車（Vehicle）と、住宅・ビル等の電力を消費する建物や設備（Everything）との間で電力の相互供給を行う技術やシステムの総称。



EV からパソコンや照明等への給電

資料編

資料 1 大阪市域の温室効果ガス排出量に影響を与える要素

- (1) 大阪府下のエネルギー消費量の推移
- (2) 地域総生産（GRP）あたりの温室効果ガス排出量の推移
- (3) 国内総生産（GDP）、地域総生産（GRP）とエネルギー消費量の推移
- (4) 大阪市の人口の将来展望
- (5) 業務系建築物床面積と床面積あたりのエネルギー消費量の推移
- (6) 地域総生産（GRP）の産業別構成比の推移及び国内総生産（GDP）との比較
- (7) 世帯数と1世帯あたりのエネルギー消費量の推移
- (8) 人口と世帯数の推移
- (9) 自動車保有台数の推移
- (10) 自動車交通量の推移
- (11) 次世代自動車の普及状況
- (12) ごみ処理量の推移
- (13) 太陽光発電導入量の推移
- (14) 大阪市域における電力需要と再生可能エネルギー導入ポテンシャル
- (15) 大阪府下における労働時間とエネルギー消費量の推移
- (16) 日本における平均的なライフスタイル・カーボンフットプリントとその内訳
- (17) 行動変容による GHG 削減効果の推計

資料 2 現状趨勢ケースの排出量推計の考え方

資料 3 脱炭素社会に向けた若者の意見

- (1) 大阪大学の学生からの意見
- (2) 大阪公立大学の学生からの意見

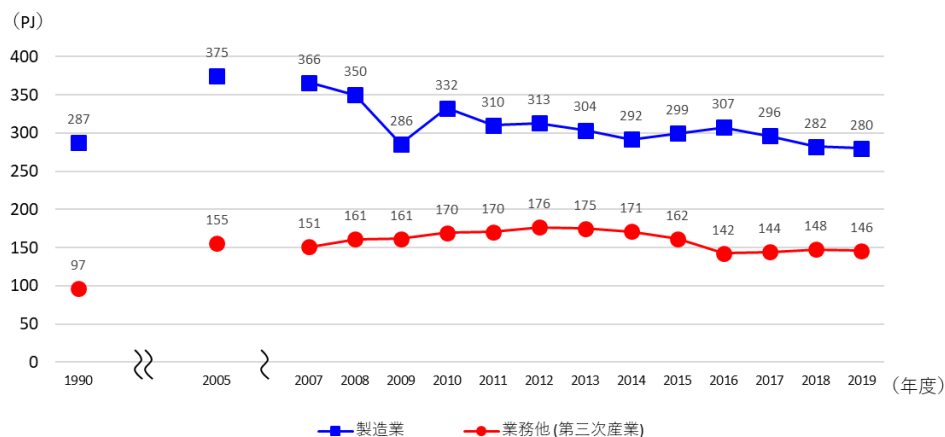
資料 4 施策による削減可能量の算定

資料 5 大阪市の適応に資する取組み

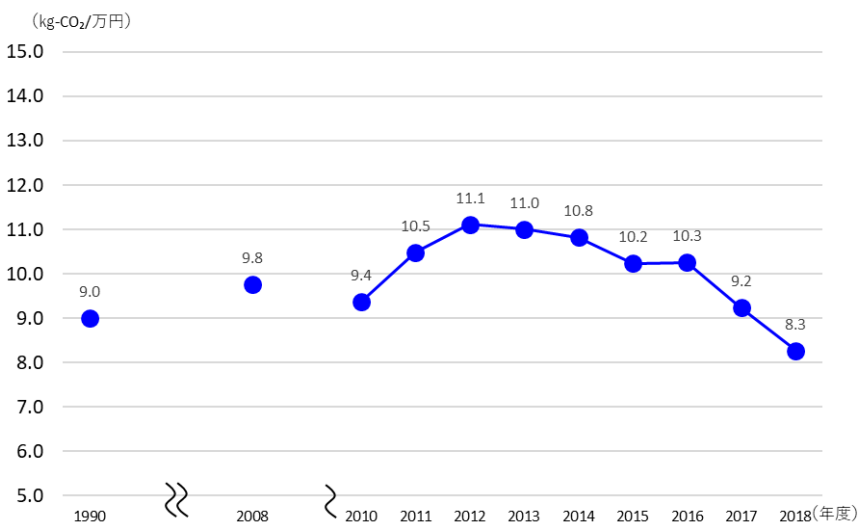
資料 6 大阪市地球温暖化対策実行計画〔区域施策編〕の進行管理に係る指標

資料 1 大阪市域の温室効果ガス排出量に影響を与える要素

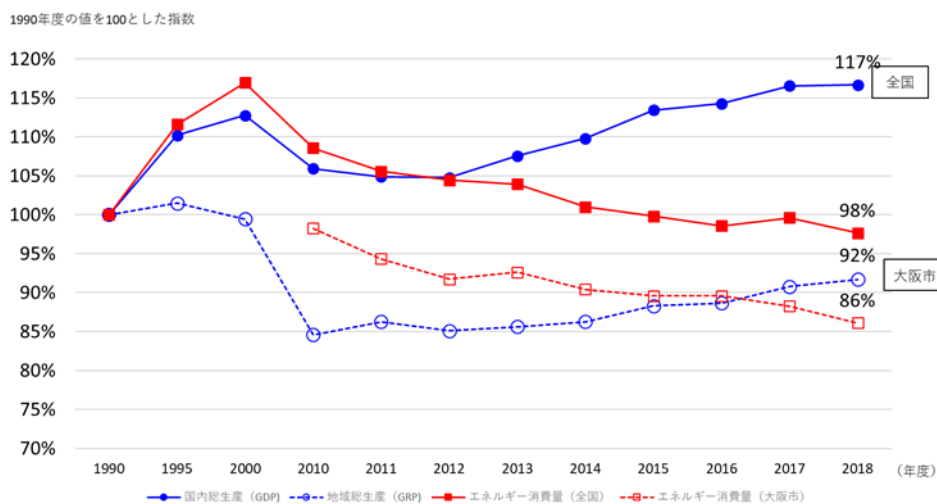
(1) 大阪府下のエネルギー消費量の推移(1990ー2019)



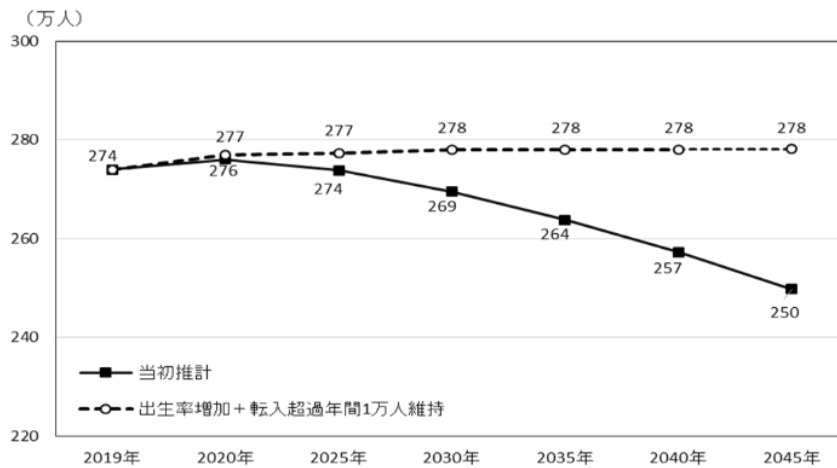
(2) 地域総生産（GRP）あたりの温室効果ガス排出量の推移（1990ー2018）



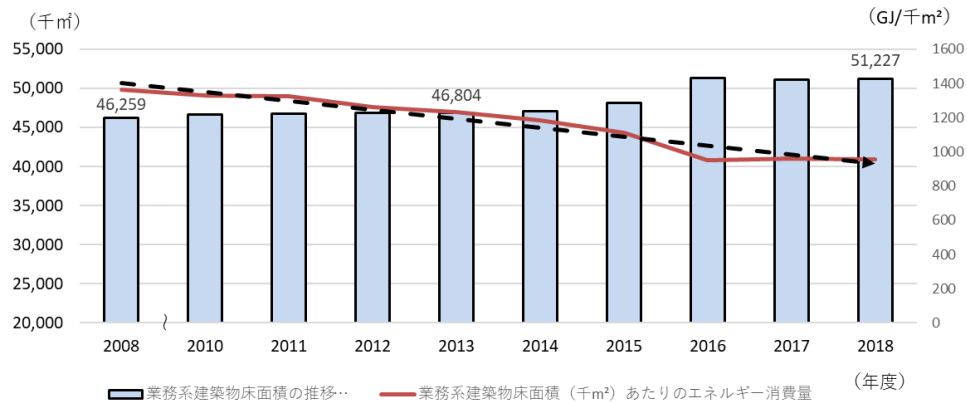
(3) 国内総生産（GDP）、地域総生産（GRP）とエネルギー消費量の推移（1990ー2018）



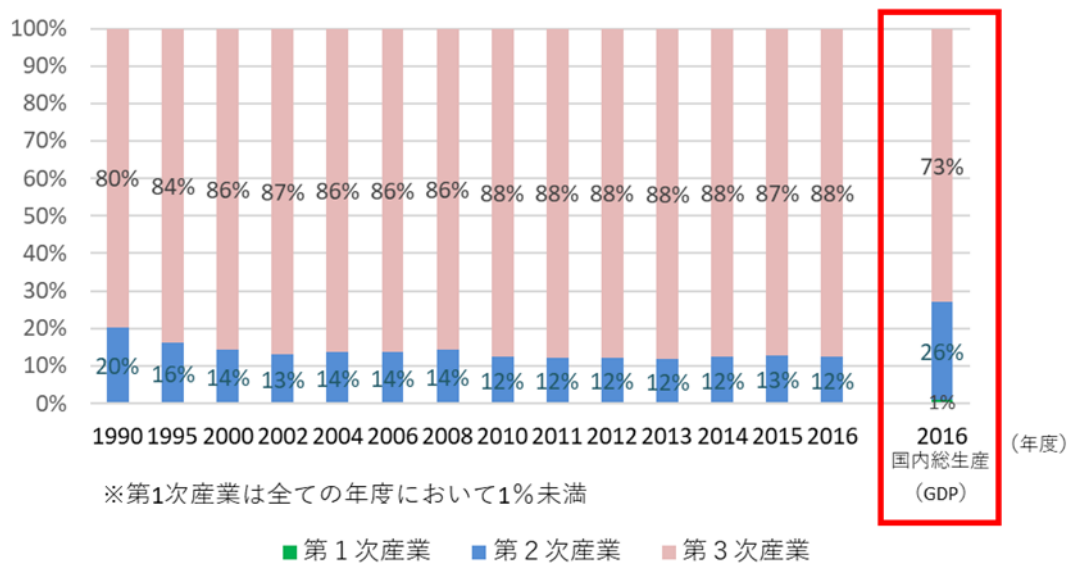
(4) 大阪市の人口の将来展望 (出典：大阪市人口ビジョン 令和2年3月)



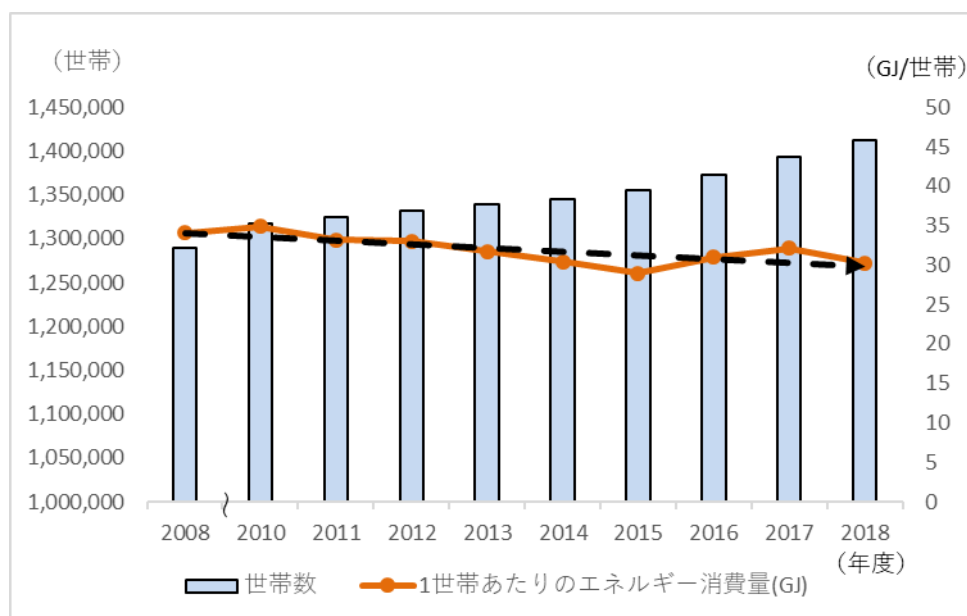
(5) 業務系建築物床面積と床面積あたりのエネルギー消費量の推移 (1990-2018)



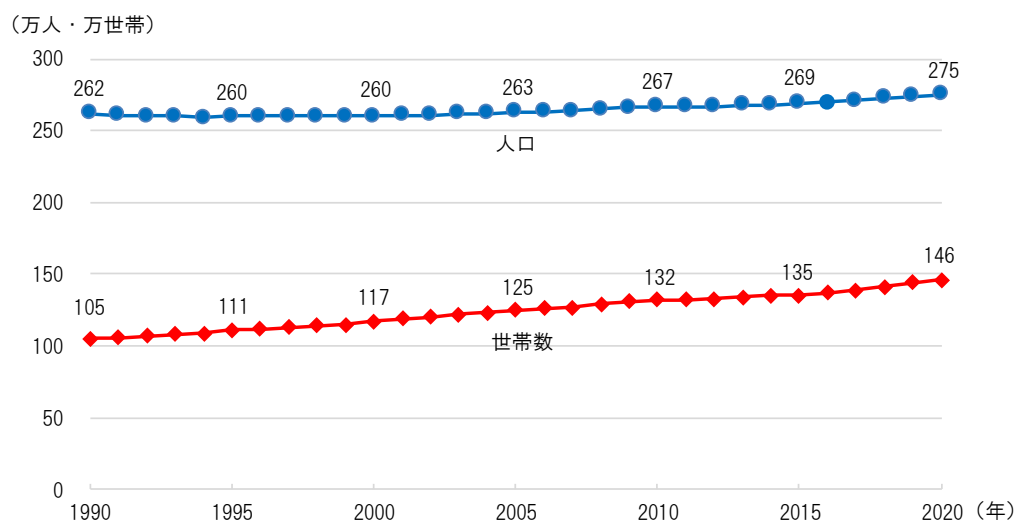
(6) 地域総生産 (GRP) の産業別構成比の推移 (1990-2016) 及び国内総生産 (GDP) との比較



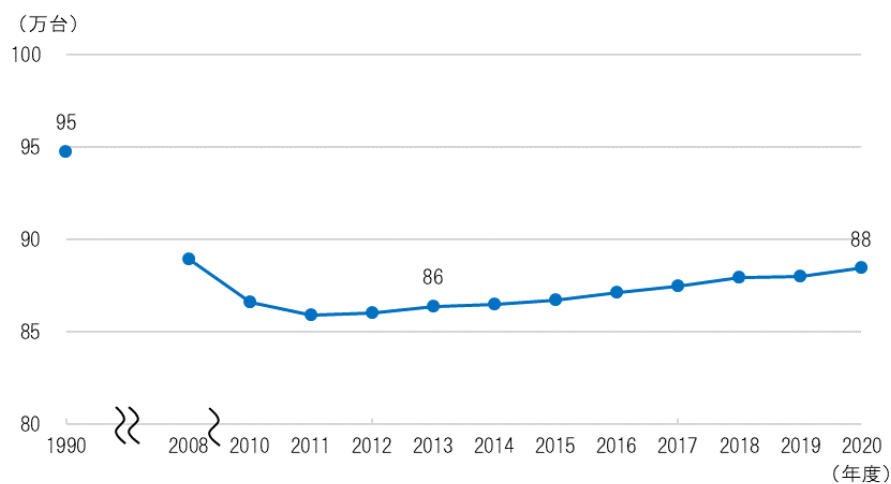
(7) 世帯数と1世帯あたりのエネルギー消費量の推移(1990-2018)



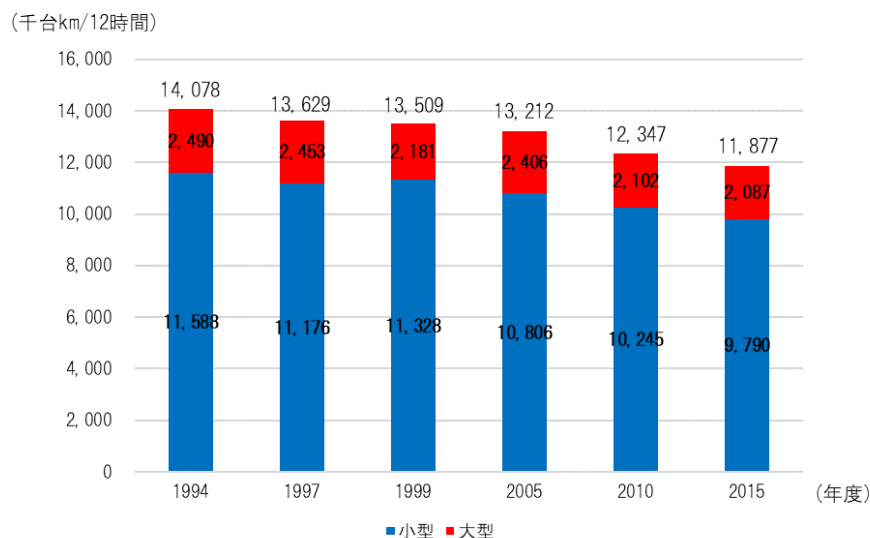
(8) 人口と世帯数の推移(1990-2020)



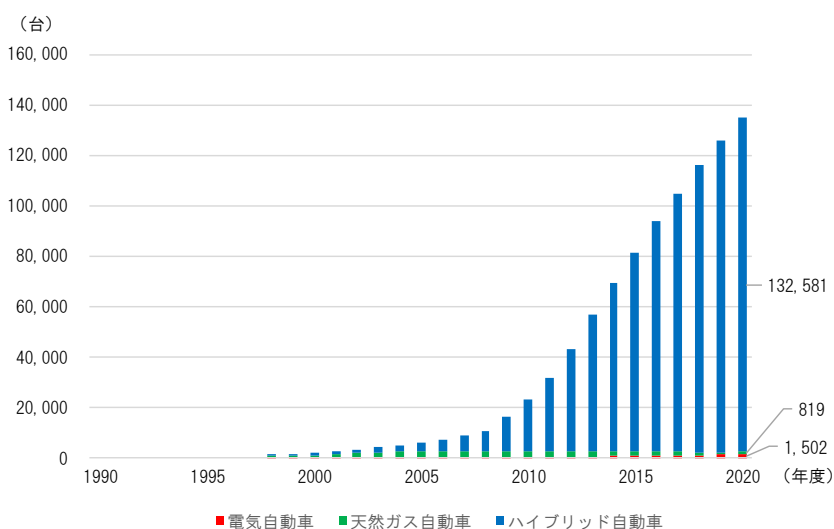
(9) 自動車保有台数の推移(1990-2020)



(10) 自動車交通量の推移 (1994－2015)



(11) 次世代自動車の普及状況 (1990－2020)



(12) ごみ処理量の推移 (1990－2020)

